

教育・研究業績書

領域名

老年看護学

<教員の紹介>

教授 坂 哉 繁 子
講師 須 佐 公 子

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 基礎ゼミナール（1学年通年）	2007年4月～12月	1グループ（8名）を担当し、学生が学びたいテーマを見だし（食文化から見た現代の健康な食事）、それについて調べ討議し発表するというプロセス全体にかかわり、主体的な学習姿勢を体得させた。（29コマ）
	2008年4月～12月	坂哉、須佐が各々1グループ担当し上記内容で指導した。テーマは臓器移植について（坂哉）、終末期医療他（須佐）（17コマ）。基礎ゼミナール後半のPBLにおいては、坂哉はチューター会議責任者として企画運営を担当した。
2. 老年看護学概論（2学年前期）講義	2008年4月～現在	老年看護の目的、高齢社会の概況・保健医療福祉、高齢者理解、人権擁護等について理解することを目標としている。加齢現象や高齢者の生活について新聞記事や川柳、具体的事例を提示して説明し、視聴覚教材を活用し、高齢者とその環境について学生のイメージが広がり具体化する工夫をした。「新聞記事を読んで考察する」、「身近な高齢者へのインタビュー」を課題レポートとし学生自身が主体的に学ぶ体験を促した。高齢者疑似体験セットを10台準備し、講義時間外に一人約40分実施させ、高齢者の生活についてレポートを提出させた。
3. 老年臨床看護学（2学年後期）講義	2008年10月～1月	加齢現象による生活の変化や健康問題を理解することを目標とした講義である。専門基礎科目の「病態治療学」では講義されていない高齢者の特徴的な疾患の病態・治療について医学部教員をゲストスピーカーとして迎え5コマの講義をいれて学生の理解を深めた。講義には具体的な事例や場面、図表を使い、学生の理解を助ける工夫をした。また専門基礎科目で学んだ知識を想起させることを意識した。

4. 老年看護援助論 (3 学年前期)	2009 年 4 月～7 月	高齢者の看護を実践するための基礎的な技術を習得することを目標としている。全 15 コマのうち、4 コマまでは全学生対象の講義、5～15 コマは、2 クラスにわけて講義・演習・グループワークを実施した。同じ授業を 2 回することになるが、50 名の学生を 3 人の教員で指導することで、学生の学習効果を高めた。また教員は個々の学生の修得状況を把握することができて臨床実習計画に活用できた。看護診断の演習では、小グループワークと、個々に看護診断プロセスを記述したレポートを提出させ、学習を深める助けとした。褥瘡の看護について獨協医科大学病院の認定看護師をゲストスピーカーとして迎え、講義・演習を実施した (2 コマ)。知識と技術の統合および看護過程の理解を深めるため、前半の看護診断演習に提示した事例を用いて学生に技術演習を実施させた。
5. 研究方法論講義	2009 年 5 月	坂哉がオムニバス形式の授業において質的研究方法を担当した (2 コマ)。理解を助けるため参考文献 5 部を配布し講義を勧めた。学生に文献探索をさせ要約を共有する作業を小グループで実施し、質的研究の概略を理解させた。
6. 学生の出席カードの活用	2008 年 4 月～現在	講義に対する感想、質問、意見などを記述する出席カードを作成し、老年看護学概論、老年臨床看護学の講義終了後毎回提出させ、次の講義で解答や補足をして授業内容の改善に活用した。老年臨床看護援助論においては、講義中心の授業では出席カード、技術演習では感想などを記述したレポートを提出させ、修得状況の把握に努めた。
7. 高齢者イメージの変化の把握	2008 年 4 月 ～2009 年 3 月	高齢者に対する肯定的なイメージを育成することを教育目標の 1 つに挙げているが、1 回生の高齢者に対するイメージ調査において、授業前後でより肯定的なものに変化していた。
② 作成した教科書、教材、参考書		
老年看護学概論、老年臨床看護学の教材作成 老年臨床看護援助論の教材作成		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業に、講義のポイントとテキスト内容の理解を助けるための資料を配布した。 ・高齢者疑似体験および身近な高齢者へのインタビューの実施ガイドブックを作製した。 ・毎回の講義・演習について講義のレジメ、テキストでは不足の内容、文献などを記述した資料を配布した。

③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項

<p>老年臨床看護学実習準備</p>	<p>2007年</p> <p>2008年</p> <p>2009年5月</p>	<p>実習施設として、日光医療センター、下都賀郡市医師会病院、介護老人福祉施設「いしばし」・「しもつけ荘」、介護老人保健施設「みなと荘」の5か所を使用する。それぞれの施設を学部長・坂哉が訪問して実習の依頼をし、今後一緒に準備をしていくことを確認した。</p> <p>着任した講師・助手の紹介と、実習に向けての打ち合わせを施設ごとに実施した。2つの病院においては、臨床側が看護学部教育と臨床実習内容を理解するために、また教員が現場と指導者の状況を理解するために研修会を実施した。その内容は、下都賀郡市医師会病院は「老年看護学実習の概要」、日光医療センターは「老年看護学実習の概要」、「高齢者の理解」、「現代看護学生を理解する」、「肺がん・四肢まひで入院中の高齢者の看護診断」、「受け持ちを断られた学生の事例検討」であった。</p> <p>日光医療センターの実習準備状況、指導体制及び看護師寮の使用規定など確認するために、両施設の事務方、教員、看護部長、看護部教育担当者との会議をもった。</p>
<p>基礎看護学領域の実習指導、演習指導</p>	<p>2008年</p>	<p>須佐：ふれあい看護実習Ⅰ、ふれあい看護実習Ⅱ 村田：ふれあい看護実習Ⅰ、ふれあい看護実習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、看護過程演習</p>
<p>その他</p>	<p>2006年～現在</p>	<p>18年度から坂哉は学生委員会副委員長として、21年度は学生委員会委員長および3学年担任として、須佐は教務委員、宣誓式プロジェクトメンバー、村田は21年度から1学年担任として学生の指導を行った。</p>

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
老年看護学	教授	坂哉 繁子	
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1980年 4月～現在	日本看護研究学会員		
1983年 3月～現在	日本看護科学学会員		
1995年 11月～現在	ヘルスカウンセリング学会員		
1999年 4月～現在	日本性科学会員		
2000年 4月～現在	日本老年看護学会員		
2008年 12月～現在	宇都宮市保健衛生審議会委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>坂哉繁子</u> ：高齢関節リウマチ患者の体験とそのプロセス. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻：49-59, 2007.			
【原 著】			
【症例報告】			
【総 説】			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
老年看護学	講師	須佐 公子	
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
2000年 4月～現在	日本看護福祉学会員		
2003年 5月～現在	日本看護科学学会員		
2004年 4月～現在	日本老年看護学会員		
2008年 12月～現在	宇都宮市保健衛生審議会委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 豊嶋三枝子, 村松由紀, 糸井裕子, 須佐公子: 清潔・衣生活援助技術, 食事援助技術, 手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術 (第1版). 豊嶋三枝子, 村松由紀編, 杏林図書, 東京, pp34-73, 2006.			
2. 豊嶋三枝子, 村松由紀, 糸井裕子, 須佐公子: 清潔・衣生活援助技術, 食事援助技術, 手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術 (第2版). 村松由紀編, 杏林図書, 東京, pp37-74, 2008.			
【原 著】			
和文			
1. 須佐公子, 豊嶋三枝子他: 介護支援専門員の「仕事の困難性」の具体的状況, 日本看護福祉学会誌, 11: 87-94, 2006.			
2. 豊嶋三枝子, 須佐公子他: 看護学生の主観的健康観と予防的保健行動に関する研究. 日本看護福祉学会誌 11: 21-30, 2006.			
3. 須佐公子, 豊嶋三枝子, 村松由紀: ケアマネジャーの職務状況とバーンアウトの実態. 第39回日本看護学会論文集: 342-344, 2008.			
4. 須佐公子, 豊嶋三枝子: ケアマネジャーの職業上ストレスとバーンアウトとの関連. 日本看護福祉学会誌 14: 29-39, 2009.			
【症例報告】			
【総 説】			
【そ の 他】			
和文			
1. 須佐公子, 他: ケアマネジャー受験対策研究会編集: ケアマネジャー模擬試験問題集 2005. 一橋出版, 2005.			
2. 須佐公子, 他: ケアマネジャー受験対策研究会編集: ケアマネジャー模擬試験問題集 2006. 一橋出版, 2006.			
3. 須佐公子, 他: ケアマネジャー受験対策研究会編集: ケアマネジャー模擬試験問題集 2007. 一橋出版, 2007.			
4. 須佐公子, 他: ケアマネジャー受験対策研究会編集: ケアマネジャー模擬試験問題集 2008. 一橋出版, 2008.			